

暮らしも、仕事も、わたしらしく。 地域に根ざす、新しい選択

～ 茨城県北地域おこし協力隊 座談会 ～

猪野 裕子 さん × 三牧 航 さん × 齋藤 幸枝 さん

問合せ 総合政策課 ☎ 内線 349

地域の魅力や課題に向き合い、持続可能なまちづくりに挑戦する「茨城県北地域おこし協力隊」。日立市では現在、茨城県から委嘱された多様な分野で活躍する隊員たちが地域とつながり、未来を描く活動を展開しています。今回は、市内で活動する3名の協力隊員にご登場いただき、それぞれの取り組みや、地域に住んで感じたこと、そして「もっとこうなったらいい」と思う視点やアイデアを語っていただきました。

外から来たからこそ気づいた“日立の魅力”とは？地域内外の目線が交わることで見えてくる、新しいまちのかたちを探ります。

PROFILE

猪野 裕子 (いの ゆうこ) 【写真左】…主に20～40代女性のライフスタイル提案やセカンドキャリア育成を支援する事業に取り組む。茨城エリアのヒト・コト・モノの紹介や体験を提案するメディアを運営。



事業HP

三牧 航 (みまき わたる) 【写真中央】…地域企業の人材採用・育成・定着を支援。人口減少課題の解決手段として、都市部の人材（兼業人材）活用を目的としたマッチングサイト『Otanomi』を運営。



事業HP

齋藤 幸枝 (さいとう ゆきえ) 【写真右】…アボカドのジュース&スイーツ専門店「AMAZING JUICE」を運営。皮や種を活用したアップサイクル製品の開発・販売に取り組むほか、地域の特産品を使用した商品開発を行う。



事業HP



場所
晴耕雨読マイクロクリエイションオフィス（多賀町）

最近「AVOCADO + LIFE」というサステイナブルなライフスタイルを提案するブランドも立ち上げました。そして3つ目は、地域事業者と連携したお菓子の商品開発です。今後は海の見える場所に拠点を構え、地域の女性を雇用し、アボカドメニューを楽しめるのはもちろん、アボカド収穫体験やワークショップなどを開催し地域を盛り上げていく予定です。

猪野 私は、「地域活性化」「ブランドینگサポート」「キャリア支援」の3つを軸に活動しています。地元の魅力をいかしたマルシェや観光イベントを企画し、人と人が自然につながる場を作ったり、企業や自治体の

情報発信をメディア戦略やデザインの面からサポートをしています。また、オンラインコミュニティ「This is me」を通じて日立市に在住する女性などが学び合える場を提供する予定です。8月からは地域の魅力を伝える地域密着型メディア「常陸暮らし」を運営しています。

ひたちは人の温かさと

自然が息づく街

—皆さんが思っている日立市や県北地域の印象とは？

猪野 出身地の福島県いわき市では、若者を中心としたイベントサークルを運営していました。当時、茨城県は若者向けイ

ベントの集客が東京に次ぐ規模で、多様なジャンルのプレイヤーカーチャーが集まる街という印象でした。しかし、近年はそうした人々が少なくなり、少し寂しく感じています。

三牧 私は東京と茨城の二拠点で生活し、連休には家族を日立市に連れてくるのが多くあり、その際、家族から「また日立に行きたい」と言われることがたびたびあるんです。東京にはない自然や暮らしやすさ、子どもが安心して遊べる場所が多くあることに、大きな魅力を感じています。

齋藤 私は日立市での活動を通じて、人の温かさを何よりも感じています。私の活動を快く受

新しいひたちを作る

それぞれの活動

—地域おこし協力隊の活動内容についてお聞かせください。

三牧 私は日立地区産業支援センターや商工会と連携しながら、県北地域の企業に対して、人材採用や育成・支援に取り組んでいます。もともと、どこかの地域に根を下ろして活動したいと考え、さまざまな地域を見ていたのですが、その中で茨城県が実施する*「茨城県北地域おこし協力隊（KENPOKU PROJECT E）」の存在を知りました。県からの手厚いフォローに心強さを感じましたし、当時から親しくしていたコイデイナーターから声をかけていただいたこともあり、日立市での活動を決意しました。

齋藤 私はアボカドを軸にした「資源循環型ビジネス」と「女性が活躍する活気あるまちづくり」をテーマに活動しています。私の主な取組は3つあり、1つ目はアボカドのジュースやスイーツの専門店の運営で、オンラインショップや週末のイベント出店で販売しています。2つ目は、その過程で生じる皮や種を活用した商品の開発・販売で、



齋藤さんと多賀町に吹きガラス体験工房を構える「ホシノガラス」とのコラボ作品「AVOCADO キャンドルホルダー Plate」

け入れ、応援してくださる方が多くいらっしやいます。特に、「いつでも帰っておいで」とまるで娘のように迎えてくださる年配のご夫婦がいるなど、日立市は私にとって第2の故郷のような存在になっています。

地域の魅力と

可能性を再発見

—活動を通して、もっとこうすれば日立市が良くなると思う点や気づいた点がありますか。

齋藤 私たちのように地域をより良くしたい、助けになりたいという思いを持って活動している方は多くいると思いますが、地域住民の皆さんとは、まだどこか微妙な距離感があるように感じています。両者がうまく交わることであれば、さらにおもしろい取組や熱気が生まれる

* 県北地域において、地域資源の活用や地域課題の解決につながる事業を起こし、持続可能なビジネスを創り上げることを目指す地域おこし協力隊



日立市でがんばる 地域おこし協力隊

各隊員の紹介は
こちら



座談会に登場した3人の隊員のほかに、さまざまな活動に取り組みながら、地域を盛り上げようとがんばる地域おこし協力隊の皆さんを紹介します。(敬称略)

大場 一雅
(おおば かずまさ)



AIを活用し、日立から世界の情報格差を埋める挑戦を続ける。市内外の連携を深め、地域発グローバル企業として、ビジネスと地域課題解決の両面に取り組む。



事業HP

柴田 大志
(しばた たいし)



企業・行政の悩みである認知拡大・集客・採用をSNSで解決するため、SNSをまるっと運用する「茨城シェア」や従業員さんをSNSのプロに育てる内製化支援に取り組む。



Instagram

神田 駿介
(かんだ しゅんすけ)



林業の担い手不足などにより放置された森林を自伐型林業で保全し活用する活動に取り組む。また移住体験、間伐材を活用した製品づくり、企業研修やイベント企画などを実施。



Instagram

松井 洋介
(まつい ようすけ)



日立駅前で「カレーだっ！ by ハイカラ」という飲食店を営みながら、地元産食材の魅力を発信。現在は、県産豚肉を使った加工品の開発にも力を入れ、ブランド化に向けて取り組む。



Instagram

相澤 雄大
(あいざわ ゆうた)



日立の里山のまろやかな湧き水を活用した「MIDORITO SAUNA Camp&BBQ Field」を2024年10月十王町高原にオープン。施設を共に盛り上げてくれるスタッフを募集中。



事業HP

滝田 眞優
(たきた まゆ)



市内施設や自然豊かな田畑で、外国の方と地域の方がつながるきっかけをつくる活動に取り組む。国際交流サークル運営などに取り組み、多文化が共生するまちづくりを目指す。



Instagram

豊永 裕美
(とよなが ひろみ)



ヤマドリ肉の食肉養鶏事業を始めるために、十王町で養鶏技術の承継を受ける。その他、山菜や食べられる雑草などを採取し調理するイベントなどにも取り組む。



Instagram

羽根田 一真
(はねだ かずまさ)



社会問題のひとつである空き家問題と、日立市地域における課題をビジネスに結び付けて解決していくプラットフォーム(Web技術)を構築・運営する。



Instagram

加藤 範之
(かとう のりゆき)



KENPOKU LUXURYという県産スパークリング日本酒造りを実施。日立市、茨城の歴史、伝統技術、食材、水を文化的天然資源と捉えて世界に羽ばたく県産品となるよう取り組む。

酒井 勇介
(さかい ゆうすけ)



「筋トレが最強のソリューション！筋肉で町を盛り上げます！」要介護者の増加を緩和し、市民の皆様の健康寿命延伸をサポートする出張筋トレ教室を運営する。



Instagram

松原 隆成
(まつばら りゅうせい)



市内で、株式会社2nd SHOTを運営。ゴルフ場などから回収したロストボールを洗浄・選別し、再販売する循環型事業を実施。リーズナブルなリユース商品として再提供に取り組む。



事業HP



三牧 航 さん

三牧 私は企業が「仕事」を再設計し、魅力を的確に発信することが重要だと感じています。日立市を離れる人は「仕事がない」と言いますが、地元の方には「人がいない」と言われます。これは、本質的には仕事の魅力が伝わっていないだけかもしれません。ある市内企業が求人内

のではないかと感じています。**猪野** 日立市は坂道が多く、車を走らせれば海のグラデーションや山の美しい景色が目に入ります。日常の中でこれほど豊かな景観に出会える街は珍しく、ハワイや鎌倉で暮らした経験から、ここには「手つかずのリゾート」の可能性を感じています。地元の方々から「なぜここに？」と聞かれますが、これほどポテンシャルを秘めた街はそうありません。だからこそ、この魅力を地元の方々にも再発見してもらえようなコンテンツを発信していきたいと思っています。

容と発信方法を見直した結果、10日間で20件の応募を得た事例もあります。驚くような特効薬を期待するのではなく、小さな改善の積み重ねが大きな変化につながると思っています。**「知られざるひたち」を届けた**
―日立市の「推しポイント」を教えてください。

三牧 私の「推し」は、アクティビティを楽しめるスポットです。家族を連れて、市内の観光地をほとんど巡りました。ある地域のキャッチコピーに「ないものはない」という言葉があり、私はこの言葉がとても好きです。この言葉には2つの意味があります。1つは「大切なものはすべてここにある」、もう1つは「ないものはない」ということです。「新しいものを作ればよい」という発想よりも、すでに存在しているものの中に、人によって魅力的に映るものがあるという考え方で、その魅力を正しく伝えることができる人を育て、発信していくことで、日立市の魅力をより多くの人に伝えることができるのではないのでしょうか。

齋藤 東滑川ヒカリモ公園に



齋藤 幸枝 さん

は、たくさんさんの遊具や散策コースがあり、とても素晴らしい場所だと感じています。公園を出た際、偶然にも隣に温泉スタンドを見つけ、とても驚きました。地元の方々が次々と温泉を汲んでいく様子に「この魅力をもっと広めたほうがいい」と強く感じました。地元の方にとっては当たり前存在かもしれませんが、外から来た者にとってはとても新鮮で魅力的です。

猪野 地域おこし協力隊に着任する前、日立市で1週間ほど生活してみたいです。日立駅から望む海やシーサイドロードでのドライブは、海と共に暮らしてきた私にも新鮮で、海の新しい魅力を感じさせてくれました。この街には、まだ開発されていない魅力が数多く残り、観光客も少ない穴場があります。「適度な空白と静けさ」は、物があふれる現代だ



猪野 裕子 さん

からこそ価値があり、これから注目されると感じています。
―最後に今後の活動に対する意気込みを一言お願いします。

三牧 地域の課題である人手不足や雇用の創出に力を注ぎ、事業が持続・発展できる仕組みづくりを進めています。お困りごとがあれば、ぜひお気軽にご相談ください！

齋藤 日立市を盛り上げたいという熱い想いを持つ多彩な協力隊メンバーと共に、個性をいかした活動を展開しています。皆さんと一緒に楽しみながら、この街をより元気にしていきたいです！
猪野 日立市が魅力あふれる街だと住んでいる方にも思っていただけよう新しい「ひたちカルチャー」を築く挑戦をしています。まだ知り合いも少ないので、気軽に声がけください！そして皆様のアイデアもガンガンお待ちしております。